

2月の園便り



あみせがらさんで遊ぶ
みかばさん

22年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

悪気なく、ちょっとだけふざけて、他の子の遊びを邪魔しちゃったA君、悪気がない分、“悪かった”という思いは少なかったのです。

A君と、このことには触れずに絵本を1冊読んで、それから世間話(?)をしていました。しばらく話しているうちに、そういえばこの前たくさんお団子をつくったよね。という話になって、A君「うん、そう、いっぱいだったよね・・・でもさあ、あの時、B君がお皿、わざとひっくりかえしてさ～壊しちゃったんだよ。」私もその場にいたので状況はよく分かりますので「そうだったね、めちゃくちゃにされると悲しいよね。」というと、A君は“あっ!”と思ったような表情(小さなウインク状態)になりました。

「邪魔されると悲しいよね」というと「うん、そうだよね・・・」とA君。
A君は分かったのです。ふざけて邪魔をすると相手が悲しい思いをするということが・・・自分が邪魔をされたことと、その日、自分が他の子の邪魔をしたことがぴたりと重なって・・・だから私はそれ以上何も言わなかったのです。自分で分かったのに、追い討ちをかけるようにお説教じみたことを言わなくともいいのですから。
子どもたちはこうして日々いろいろなことを自分で経験して知っていきます。自分で学んだことだから、友だちとの関係もより深いものとなるのです。

園庭で---「鬼ごっこしよう」というみんなの声に、Cちゃんが言いました。「私、嫌だ、だって鬼になるの嫌なんだもん」するとD君がそっと言いました。「大丈夫だよ、僕が鬼にならないようにしてあげるから」このD君の言葉にCちゃんは安心して鬼ごっこに加わることにしました。みんなでつま先を出して鬼決めです。D君が「おにきめ、おにきめ、おにじゃないよ」といいながらみんなのつま先を数えていきます。当たると抜けられます。最後に残ると鬼になります。ひとりぬけ、ふたりぬけ・・・D君は最後に担任が残るように数えたのです。D君の思いやりに、Cちゃんは鬼ごっこに加わる事ができて楽しい思いをすることができました。D君は数えはじめるところをどこにすれば担任が鬼になるのかを考えられるのですね。D君の姿は、人格的な成長と知的な成長のバランスが取れているのです。アンバランスな成長をさせてしまうような情報が多い現代ですが、こうしたバランスの取れた成長を促してくれるのが、遊びを中心とした幼児教育なのです。人格の基礎を作る大切な時期ですから、幼児期に経験しなければならぬ幼児らしい生活ができるようにしてあげなければなりません。

こうした子どもたちの姿は本当に嬉しく、私たち保育者の喜びであります。

22年2月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	月	○	2:00		
2	火	○	2:00		
3	水	○	2:00	節分の豆まきを致します。	
4	木	○	2:00	立春	
5	金	○	2:00		
6	土	/	/	大学入試のためお休みです。	
7	日	/	/		
8	月	○	2:00		
9	火	○	2:00		
10	水	○	2:00		
11	木	/	/	建国記念日	
12	金	○	2:00		
13	土	/	/	第2土曜日	
14	日	/	/		
15	月	○	2:00		
16	火	○	2:00		
17	水	×	11:30	誕生会です。2月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう	
18	木	○	2:00		
19	金	○	2:00		
20	土			各学年2組さんの、のぼら劇場を行います。	
21	日	/	/		
22	月	○	2:00		
23	火	○	2:00		
24	水	○	2:00		
25	木	○	2:00		
26	金	○	2:00		
27	土			各学年1組さんの、のぼら劇場を行います。	
28	日	/	/		